colette Beautiful-Aging Club vo.10

世は アンチエイジングの時代。

年齢や経験の積み重ねで磨きあげた“成熟からなる美しさ”で輝く女性たちをご紹介しています。

# THE BEST OF ME

## ～今の自分を写真で記録する～

## 40歳からは自分で自分をお祝いしましょう。

“40歳”は、人生の大きな節目のひとつです。

内面・外面共に自分を磨く努力を「している人」と、「怠っている人」の差が歴然とするのもこの辺から・・・。

だからこそ40歳を過ぎたら、今の自分を写真で残し、「努力」と「ご褒美」を習慣づけませんか?

Hair 担当／ageeWAM 鹿児島店 tel.099-285-5700

今月の anne

anne by colette

anne（アンヌ）はcoletteのお姉さん的な存在です

安蒜 佳代子さん（50歳）

病院理事長

50歳の誕生パーティーでのドレス姿

colette × esthe wam 共同企画

大人の記念美写真

お問合せ・ご応募は

colette編集部まで tel.099-812-6490

info@colette-free.com

※anneモデル希望と明記ください。

## 年齢は自分でが決めるもの。脳を鍛えることが1番だと思うんです。

### She's Story

今月の「大人の記念美写真」にご登場頂いたのは、鹿児島市内の病院で理事長職を勤める安蒜佳代子さん。

生まれも育ちも東京という佳代子さんは、約10年前に現職に就くため、鹿児島へ。

鹿児島の印象をお聞きすると、まずは「南国」。

海が好きで、マリンスポーツとゴルフが趣味。引き締まった健康美はその賜物なのでしょう。長身ですらりとしたスタイルと溌剌とした雰囲気は眩しいほど。

そんな佳代子さんに若さを保つ秘訣をお聞きすると、

「もともとシミが出来やすい肌質ですし、特にオフタイムを自然の中で過ごすことが多いため、月に1度は必ずフェイシャルエステを受けています」（佳代子さん）

鹿児島に引越した当初は、日常からサングラスや日傘が手放せない、あまりの日差しの強さに驚かれたそう。帰京の際、東京の美容師さんに頭髪や地肌の日焼けを指摘され、改めて自覚。それ以降は帽子も欠かせないアイテムに。

東京ではエステサロンを経営されていたという佳代子さんは、その経験からも「フェイシャルは絶対に必要」と、鹿児島に赴任早々から、従姉妹さんに紹介してもらい「エステワム」に通うようになったのだとか。

「掛り付けのサロンがあると、安心して委ねられます。担当の方は、私の（遊びの）スケジュールも把握されているほどなんです（笑）。

あと、若さを保つには、ケアだけでなく、まずは精神面や美意識を高め、脳を鍛えることが大切だと思っているんです。そうすると自然に抑制や節制ができますから。東京時代は銀座でエステサロンを経営していましたから、いろんな女性たちを見てきました。お金があっても、物には沢山お金を使うのに、自分自身に使わない人が多い。例えば、ブランドBAGだけを大量に買い続けていたり…。どこか精神のバランスが悪く、意識が偏ってしまっているんですよね。女性はお洒落はもちろん、美味しいものや、旅行など、色々好きでしょう。人生を楽しむためには、まずは自分自身にお金をかけて、健康でいることが1番だと思います」（佳代子さん）

当初は、全く友達もいなかったという佳代子さんですが、行動派で明るい性格もあり、今ではたくさんの友人に恵まれ、月に1回のペースで集まっている女子会が楽しみなのだとか。恒例のハロウィン・パーティーでは、周囲が驚く程の本気の仮装で集まったり、遊びにも真剣（笑）。

また、ご自身の50歳の誕生パーティーでは、ドレスを着てご友人等とともに城山観光ホテルで盛大にお祝いされたという、まさに「大人の記念美」を実践されている方でした。

「鹿児島はほんとうに素敵な女性が多い。そして皆、肌がきれいでお洒落。仕事を頑張っている人は特に元気ですよね」（佳代子さん）

ヨークシャーテリアの皇くん（7歳）を溺愛し、出張からもとんぼ返り、もちろん海外旅行には行かないという一面も。その分、鹿児島で過ごす休日はほとんどどこかに出掛けていらっしゃるのだとか。

「雄大な自然に恵まれた鹿児島。折角の環境を楽しまない理由はありません」と、南国・鹿児島をたっぷり満喫されているようです。